

「令和時代の健康・長寿」

入場無料
オンライン配信
事前申込み制

令和2年 **11月13日(金)~14日(土)**

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」
〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

第1日

11月13日(金)

10:15

◆基調講演

「社会健康医学からみた令和時代の健康と長寿」

13:00

◆学術セッションⅠ

「健康の保持増進に役立つ医学的知識の基礎を学ぶ」

15:15

◆学術セッションⅡ

「工学・光産業と健康・長寿」

第2日

11月14日(土)

10:00

◆静岡の未来を拓く「高校生及び大学生の活動報告」

【関係者のみ参加】

13:00

◆学術セッションⅢ

「人口減少社会と健康・長寿」

14:30

◆県民フォーラム

「地域住民の健康・長寿を支える
専門多職種の活動」

主催：静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会（静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡県）

後援：静岡県教育委員会／一般社団法人 静岡県医師会／一般社団法人 静岡県歯科医師会／一般社団法人 静岡県老人クラブ連合会／公益社団法人 ふじのくに地域・大学コンソーシアム／公益財団法人 しずおか健康長寿財団／公益財団法人 静岡県産業振興財団／公益社団法人 静岡県栄養士会／公益社団法人 静岡県看護協会／公益社団法人 静岡県薬剤師会／公益社団法人 日本農芸化学会／公益社団法人 日本薬学会／静岡県健康づくり食生活推進協議会／静岡県製菓協会／静岡県中小企業団体中央会／社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会／大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所／地方独立行政法人 静岡県立病院機構／公益社団法人 日本栄養・食糧学会

◆開会挨拶

10:00～10:15

6階「大ホール」

◆基調講演

10:15～11:45

6階「大ホール」

演 題 「社会健康医学からみた令和時代の健康と長寿」

座 長 合田敏尚（静岡県立大学 副学長／食品栄養科学部 教授）

講 師 中山健夫（京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 教授）

◆学術セッションⅠ

13:00～15:00

6階「大ホール」

テーマ「健康の保持増進に役立つ医学的知識の基礎を学ぶ」

コロナ禍という前代未聞の事態に直面する中、あらためて健康であることの大切さを実感させられます。今巷ではウイルスや免疫、動脈硬化といった言葉が溢れています。そこで、こうした言葉を中心に、健康の保持や増進に役立つ医学的知識の基礎を紹介します。

座 長 森田明雄（静岡大学 農学部 部長／教授）

座 長 石川智久（静岡県立大学 薬学研究院 院長／薬学部 教授）

講演1 「血管を健やかに保ち長寿をめざす」

講師／渡邊裕司（浜松医科大学 副学長／医学部 教授）

講演2 「ウイルス感染症と健康」

講師／鈴木 隆（静岡県立大学 薬学部 教授）

講演3 「腸内細菌と免疫、健康」

講師／梅本英司（静岡県立大学 薬学部 教授）

◆学術セッションⅡ

15:15～17:15

6階「大ホール」

テーマ「工学・光産業と健康・長寿」

工学や光産業の発展が、どのように医療の現場に活かされて、健康や長寿に役立っているかについて紹介いたします。

座 長 庭山雅嗣（静岡大学 工学部 電気電子工学科 准教授）

座 長 中村和正（浜松医科大学 医学部 放射線腫瘍学講座 教授）

講演1 「光子を検出する高感度高分解能X線画像検出器～低被ばく診断の実現に向けて」

講師／青木 徹（静岡大学 電子工学研究所 学長補佐／教授）

講演2 「近赤外分光組織酸素計測装置の開発とその応用」

講師／大平英雄（株式会社アステム 企画室室長／技術開発部次長）

講演3 「病院におけるニーズへの対応－放射線治療の立場から－」

講師／中村和正（浜松医科大学 医学部 放射線腫瘍学講座 教授）

◆静岡の未来を拓く「高校生及び大学生の活動報告」

10:00~12:00

【関係者のみ参加】

座長 岡野哲也（静岡県教育委員会 高校教育課 教育主幹）

座長 森本達也（静岡県立大学 薬学部 教授）

◆学術セッションⅢ

13:00~14:15

6階「大ホール」

テーマ「人口減少社会と健康・長寿」

少子高齢化は先進国に共通する課題です。アジア全体の動向から日本の介護人材需要を位置づけ、静岡県内での外国人介護人材育成の現状をご紹介します。

座長 高畑 幸（静岡県立大学 国際関係学部 教授）

講演1 「日本・アジアの長寿化と介護需要の増加」

講師／林 玲子（国立社会保障・人口問題研究所 副所長）

講演2 「静岡県における外国人介護人材の受け入れと介護福祉士資格取得に向けた支援」

講師／天野ゆかり（静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科 介護福祉専攻 講師）

◆県民フォーラム

14:30~16:45

6階「大ホール」

テーマ「地域住民の健康・長寿を支える専門多職種の活動」

団塊の世代が後期高齢者となる2025年、そして高齢者人口の増加もピークを迎える2040年以降に向けて、地域住民の健康・長寿をいかに保っていくか考えなければなりません。国は、地域住民が医療や介護が必要な状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で生活を続けられるようにと「地域包括ケア」という概念を示しました。今回の県民フォーラムでは、地域包括ケアの実現に向けて関係職種が行っている諸活動について理解を深める機会にしたいと思います。

座長 小林利彦（浜松医科大学 医学部附属病院 医療福祉支援センター長／特任教授）

座長 合田敏尚（静岡県立大学 副学長／食品栄養科学部 教授）

講演1 「最期まで自分らしくを支える～地域における総合診療～」

講師／井上真智子（浜松医科大学 医学部 地域家庭医療学講座 特任教授）

講演2 「地域包括ケアにおける医療連携と介護予防

～高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を中心に～」

講師／田中和美（神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 教授）

講演3 「健康食イノベーションー健康の見える化事業の取り組み」

講師／合田敏尚（静岡県立大学 副学長／食品栄養科学部 教授）

全体総括

総括発言者／鬼頭 宏（静岡県立大学 学長）

◆閉会

16:45

◆ポスターセッション

（別途実施）

若手研究者による研究発表

第25回 静岡健康・長寿学術フォーラム参加申込書

申込年月日 年 月 日

フリガナ				年 齢
名 前				() 歳
住 所	〒			
TEL		FAX		
メールアドレス	(※ オンライン視聴を希望する場合は、必ず記入してください。)			
職 業 (○をつけて ください)	☐ 研究者 ☐ 大学院生 ☐ 大学生 ☐ 高校生 ☐ 専門職 (職種:) ☐ 会社員 (業種:) ☐ 自営業 ☐ 公務員 ☐ その他 ()			

【参加を希望するセッションと参加方法について、該当の() 内に○を記入してください。】

日 時		区 分	会場への来場を希望する (定員 100名：先着順)		オンライン 視聴を 希望する
				会場開催が中止の場合は、 オンライン視聴を希望する	
11月13日（金）	10:15～11:45	基調講演	（ ）	（ ）	（ ）
	13:00～15:00	学術セッションⅠ	（ ）	（ ）	（ ）
	15:15～17:15	学術セッションⅡ	（ ）	（ ）	（ ）
11月14日（土）	13:00～14:15	学術セッションⅢ	（ ）	（ ）	（ ）
	14:30～16:45	県民フォーラム	（ ）	（ ）	（ ）

【注意事項】

- ① 新型コロナウイルスの状況によっては、会場での開催は中止し、オンライン視聴のみとする場合があります。(開催方法が急に変更になる場合があるため、フォーラムのホームページでご確認ください。)
- ② 会場にご来場される場合は、マスクの着用をお願いします。また、体温が37.5度以上の方や、発熱・風邪の症状のある方は、ご来場いただけません。来場時に検温を行いますので、ご協力をお願いします。
- ③ オンライン視聴を希望される方には、後日、オンライン視聴のための接続ID等をご連絡します。
- ④ 今回は、ランチョンセミナーは行いません。
- ⑤ 今回のフォーラムは、日本医師会、日本薬剤師研修センターの認定研修ではありません。
- ⑥ ご記入いただいた個人情報は、本フォーラムにおいてのみ使用させていただきます。

申込期限

会場への来場の場合： 令和2年10月30日 (金) 必着
 オンライン視聴の場合： 令和2年11月6日 (金) 必着

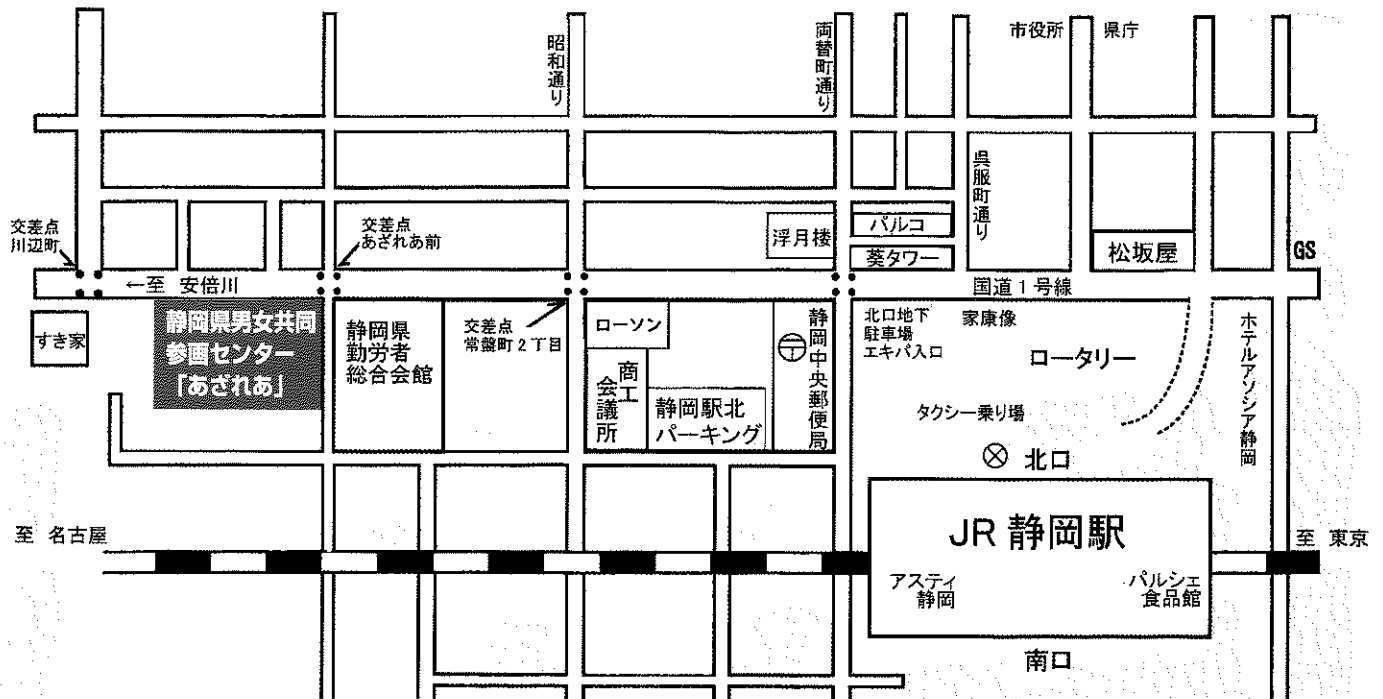
送付先

FAX (054-264-5157) 又は郵送でお申し込みください。

静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会事務局

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 TEL: 054-264-5156 FAX: 054-264-5157

(※ ホームページからもお申込みいただけます。裏面をご覧ください。)



会場までのアクセス

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

TEL: 054-255-8440 <https://www.azarea-navi.jp>

JRでお越しの場合

東海道新幹線（ひかり）東京から1時間／
大阪から2時間、静岡駅下車
静岡駅北口から国道1号沿いに西へ徒歩約9分

お車でお越しの場合

東名高速道路 静岡I.C.から3.5km、車で約7分
新東名高速道路 新静岡I.C.から9km、車で約18分
静岡バイパス 羽鳥I.C.から4km、車で約8分
※あざれあ駐車場について：一般のご来場者はご利用になれません。
お車でお越しの場合は、近隣のコインパーキングをご利用ください。

バスでお越しの場合

- 丸子清閑町線
「西門町」下車徒歩1分
※1時間に1～2本しかありませんのでご注意ください。
- 大浜麻機線・中原池ヶ谷線
「商工会議所前」下車徒歩4分
葵区から「あざれあ」へ来るときに停まります。
「馬淵1丁目」下車徒歩4分
駿河区から「あざれあ」へ来るときに停まります。
- 藁科線・南藁科線・西部循環線
「宝台院」下車徒歩2分

参加申込方法 参加費：無料

参加申込書に必要事項をご記入の上、10月30日（金）（オンライン視聴の場合は11月6日（金））までにFAXまたは郵送で【静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会事務局】宛にお送りください。また、下記のホームページからお申し込みできます。なお定員になり次第申し込みを締め切らせていただきます。

お問合せ・ お申込み

静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会事務局

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 TEL: 054-264-5156 FAX: 054-264-5157

Email: health_and_longevity@shizuoka-forum.jp

ホームページからお申し込みができます。詳しくはホームページをご覧ください。

静岡フォーラム

検索

ホームページ: <https://www.shizuoka-forum.jp>

静岡健康・長寿学術フォーラムの歩み

年 度	回 数	テ ー マ
1995年	プレ大会	健やかな長寿を科学する
1996年	第 1 回	いかに病気と戦うか ―現在そして未来―
1997年	第 2 回	長寿社会に向けての疾病抑制 ―寝たきりの防止に向けて―
1998年	第 3 回	がんへの挑戦：進歩と希望
1999年	第 4 回	賢い食生活で健康長寿をめざす
2000年	第 5 回	老化機構研究の最前線と後期高齢者の健康問題
2001年	第 6 回	ゲノム創薬と21世紀の医療
2002年	第 7 回	健康長寿への自然科学、社会科学からのアプローチⅠ
2003年	第 8 回	健康長寿への自然科学、社会科学からのアプローチⅡ
2004年	第 9 回	現代ストレス社会における“心と体の健康”
2005年	第10回	健康長寿の科学・文化を考える“フォーラム10年の歩みと未来への提言”
2006年	第11回	自然からの恵み“薬食同源” ―21世紀COEプログラム(先導的健康長寿学術研究推進拠点)からの発信―
2007年	第12回	光を当てて、こころとからだの危険をさぐる ―21世紀COEプログラム(メディカルフォトニクス)からの発信―
2008年	第13回	元気な血管で健康な長寿を ―老いは血管に始まる
2009年	第14回	再生医療 ―未来への展望―
2010年	第15回	認知症克服で健やかな長寿を～創薬と医療
2011年	第16回	異分野の科学が融合して健康長寿社会を創造する
2012年	第17回	超高齢社会を支える健康長寿科学とセルフケア
2013年	第18回	超高齢社会を支える健康長寿科学とセルフケアⅡ ―健康長寿社会へのアプローチ―
2014年	第19回	超高齢社会を支える健康長寿科学とセルフケアⅢ ―健康長寿ふじのくに さらなる挑戦―
2015年	第20回	次世代につなぐ健康長寿 ―生涯を通じた健康を考える―
2016年	第21回	健康・長寿社会を支えるモノづくり・人づくり ―生命科学から見たモノづくりの可能性―
2017年	第22回	日本人の健康・長寿のルーツを探る ―これからの健康・長寿社会を展望する―
2018年	第23回	人生100年時代の健康・長寿
2019年	第24回	健康・長寿と茶